

第 95 期

中間報告書

(2020年4月1日から)
(2020年9月30日まで)

ATSUGI

ア ツ ギ 株 式 会 社

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。ここに当社グループ第95期第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の事業の概況をご報告申しあげます。

事業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞により、企業収益や雇用環境は大幅に悪化しました。緊急事態宣言の解除後は、経済活動のレベルが段階的に引き上げられ徐々に回復の動きがみられるものの、感染症の再拡大が懸念されるなど、先行きは不透明な状況で推移しております。

繊維業界においては、緊急事態宣言に伴う商業施設等の臨時休業や営業時間短縮、外出自粛要請等により実店舗における衣料品販売が総じて苦戦するなど、個人消費は急激に冷え込み厳しい環境にあります。

このような状況において当社グループは、現在取り組んでいる中期経営計画『ATSUGI VISION 2020』で掲げる「企画・開発と営業戦略の融合」、「繊維事業におけるバランスの改革」、「製造原価の低減」、「女性の美と快適に「健康」をプラス」、「生産性の向上」の5つの課題への取り組みに加え、これらを強化するための施策として、2019年度より「事業構造改革」、「業務構造改革」、「コスト構造改革」の3つの構造改革を推進することにより、次の時代を見据えた事業構造への転換を図り、強固な事業基盤の構築を目指しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により

春先から百貨店をはじめとした取引先店舗の営業自粛や営業時間短縮、在宅勤務の推奨の動きなどの新たな生活様式への変化によるストック需要の減少等が、当社の主力商品の生産、販売に大きな影響を与えました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,264百万円(前年同期比36.6%減)、営業損失は1,301百万円(前年同期は284百万円の損失)、経常損失は918百万円(前年同期は180百万円の損失)、また、投資有価証券売却益を特別利益に計上したこと及び投資有価証券評価損を特別損失に計上したこと等により親会社株主に帰属する四半期純損失は669百万円(前年同期は195百万円の損失)となりました。

なお、中間配当につきましては、見送りさせていただくことといたしましたので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

次に事業別の概況を申し上げます。

繊維事業

レグウェア分野は、新型コロナウイルス感染症の拡大による取引先店舗の営業自粛、在宅勤務や外出自粛の広がりを背景とした個人消費の冷え込み、生活様式の変化等の影響を受け、プレーンストックやショートストックを中心とした春夏物商品の伸び悩み、プレーンタイツ等の秋冬物の導入の遅れなど全般的に厳しく、同分野の売上高は4,191百万円(前年同期比43.9%減)となりました。

インナーウェア分野も同様、新型コロナウイルス感染症の拡大による取引先店舗の営業自粛、外出自粛等の影響を受け、全般的に厳しく、同分野の売上高は1,463百万円(前年同期比17.1%減)となりました。

これらの結果、繊維事業全体の売上高は5,655百万円(前年同期比38.8%減)、営業損失は1,472百万円(前年同期は371百万円の損失)となりました。

不動産事業

不動産事業につきましては、保有資産の有効活用を進めておりますが、不動産事業全体の売上高は285百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は190百万円（前年同期比73.1%増）となりました。

その他の事業

その他の事業につきましては、太陽光発電による売電は順調に推移しましたが、介護用品の販売が外出自粛の影響などにより厳しい状況で推移しました。また、2020年4月より認知症高齢者向け介護施設であるグループホームを開設しております。これらの結果、その他の事業全体の売上高は323百万円（前年同期比6.4%減）、営業利益は27百万円（前年同期比20.0%減）となりました。以上が第95期第2四半期連結累計期間の事業の概況であります。

今後の見通しにつきましては、依然として不透明な経済情勢が続くことが予想されます。当社グループを取巻く環境も引き続き厳しい状況で推移していくものと予想される中で、第3四半期以降に向けて、価格を上回る価値ある商品作りと経営の効率化、合理化を進め、目標の達成に全力を挙げて取り組んでまいります。

なにとぞ株主のみなさまにおかれましては、引き続きなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

代表取締役社長 工藤 洋志

四半期連結貸借対照表 (2020年9月30日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	18,152	流 動 負 債	3,044
現金及び預金	7,006	支払手形及び買掛金	2,035
受取手形及び売掛金	2,795	未払法人税等	107
商品及び製品	5,665	賞与引当金	90
仕掛品	1,670	その他	811
原材料及び貯蔵品	492	固 定 負 債	3,525
その他	658	繰延税金負債	667
貸倒引当金	△ 136	再評価に係る繰延税金負債	1,479
固 定 資 産	23,638	退職給付に係る負債	1,093
有形固定資産	16,819	その他	285
無形固定資産	173	負 債 合 計	6,570
投資その他の資産	6,645	純 資 産 の 部	
		株 主 資 本	33,166
		資 本 金	20,000
		資 本 剩 余 金	16,148
		利 益 剩 余 金	△ 1,517
		自 己 株 式	△ 1,463
		その他の包括利益累計額	1,938
		その他有価証券評価差額金	1,158
		繰延ヘッジ損益	55
		土地再評価差額金	377
		為替換算調整勘定	347
		非支配株主持分	114
		純 資 産 合 計	35,220
資 産 合 計	41,790	負 債 純 資 産 合 計	41,790

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書 (2020年4月1日から)

(第2四半期連結累計期間)

(2020年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
売上高	6,264
売上原価	4,673
売上総利益	1,591
販売費及び一般管理費	2,892
営業損失(△)	△1,301
営業外収益	394
受取利息及び配当金	121
持分法による投資利益	3
補助金収入	228
その他の	39
営業外費用	11
為替差損	2
租税公課	2
その他の	6
経常損失(△)	△ 918
特別利益	664
投資有価証券売却益	664
特別損失	373
固定資産除却損	1
減損損失	1
投資有価証券評価損	369
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 627
法人税、住民税及び事業税	31
法人税等調整額	11
四半期純損失(△)	△ 670
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 1
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 669

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

取締役および監査役（2020年9月30日現在）

代表取締役社長
社長執行役員 工藤洋志

取締役
執行役員
(構造改革推進統括) 岡田武浩

取締役
執行役員
(営業統括) 牧野智哉

取締役 高梨利雄

取締役 播磨奈央子

常勤監査役 佐藤智明

監査役 後上憲一

監査役 高野健吾

- (注記) 1. 取締役のうち高梨利雄、播磨奈央子の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役のうち後上憲一、高野健吾の両氏は、社外監査役であります。
3. 播磨奈央子氏の戸籍上の氏名は高木奈央子であります。

株 主 メ モ

決 算 期	3月31日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金支払株主確定日	
期末配当金	3月31日
中間配当金	9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同 連 絡 先	東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上 場 取 引 所	東京 (第1部)
公 告 方 法	電子公告 アドレス https://www.atsugi.co.jp/ir/koukoku.html

〔ただし電子公告による公告ができな
い場合は、日本経済新聞に掲載して
行います。〕

○株式に関する各種お手続きについて

- ・株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社で承ります。
- ・証券会社に口座をお持ちでない株主様は、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せ下さい。
- ・未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

アツギ株式会社

〒243-0493 神奈川県海老名市大谷北一丁目9番1号

TEL 046-231-1111 (代表)